

## 参考資料3-5

### 瀬戸内の山～里～海～人がつながる環境教育

大学と地域との相互学びあい型環境教育指導者育成カリキュラムの展開

小林 修(申請代表者)  
愛媛大学農学部 講師

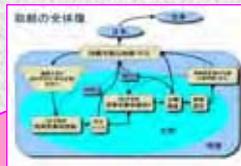
平成18年度  
現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)  
テーマ:持続可能な社会につながる環境教育の推進  
取組実施期間:平成18年度～20年度

1

## 愛媛大学の教育力!

平成18年度文部科学省GP事業選定で3冠

GPとは、Good Practiceの略で、**大学教育の優れた取組**のことです。そして、文部科学省が、大学教育改革を促進しようと、これらの取組を、国公私立大学を通じた公正な審査によって選定しているのがGP事業です。今回、狭き門を突破し、**3件もの取組が選定**されたことは、**愛媛大学の教育力**が全国的に優れていることの証です。



**現代GP(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)**  
[18年度は、全国の大学・短大・高専で申請565件、選定112件、選定率19.0%、うち1件が愛媛大学の取組]  
**瀬戸内の山～里～海～人がつながる環境教育  
大学と地域との相互学びあい型環境教育指導者育成カリキュラムの展開**  
<http://www.ehime-u.ac.jp/pickup/cons/gendai.html>



**教員養成GP(資質の高い教員養成推進プログラム)**  
[18年度は、全国の大学・短大で申請92件、選定24件、選定率26.1%、うち1件が愛媛大学の取組]  
**1年制大学が地域の特別支援教育を定める  
-教育現場・教育委員会と連携した特別支援教育コーディネーター養成プログラムの展開-**  
<http://www.ehime-u.ac.jp/pickup/cons/kyouin.html>

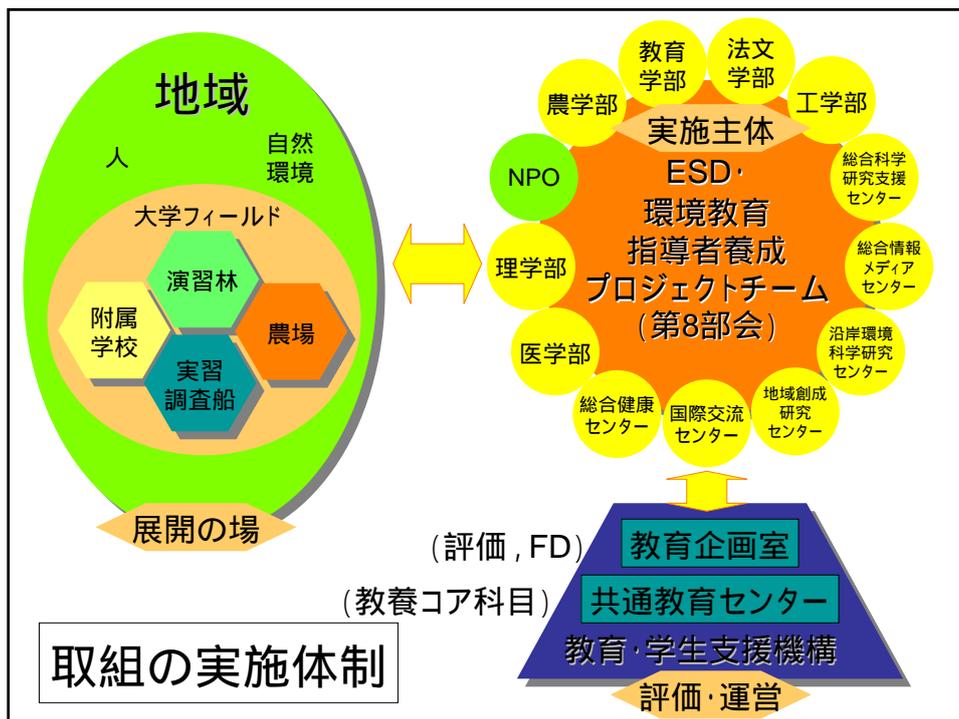


**特色GP(特色ある大学教育支援プログラム)**  
[18年度は、全国の大学・短大で申請351件、選定49件、選定率14.0%、うち1件が愛媛大学の取組]  
**FD/SD/TAD三位一体能力開発**  
<http://www.ehime-u.ac.jp/pickup/cons/go.html>

特色GPには、18年度も選定されています。  
**お接待:の心に学ぶキャンパス・ボランティア**  
[http://www.ehime-u.ac.jp/pickup/cons/go\\_16.html](http://www.ehime-u.ac.jp/pickup/cons/go_16.html)

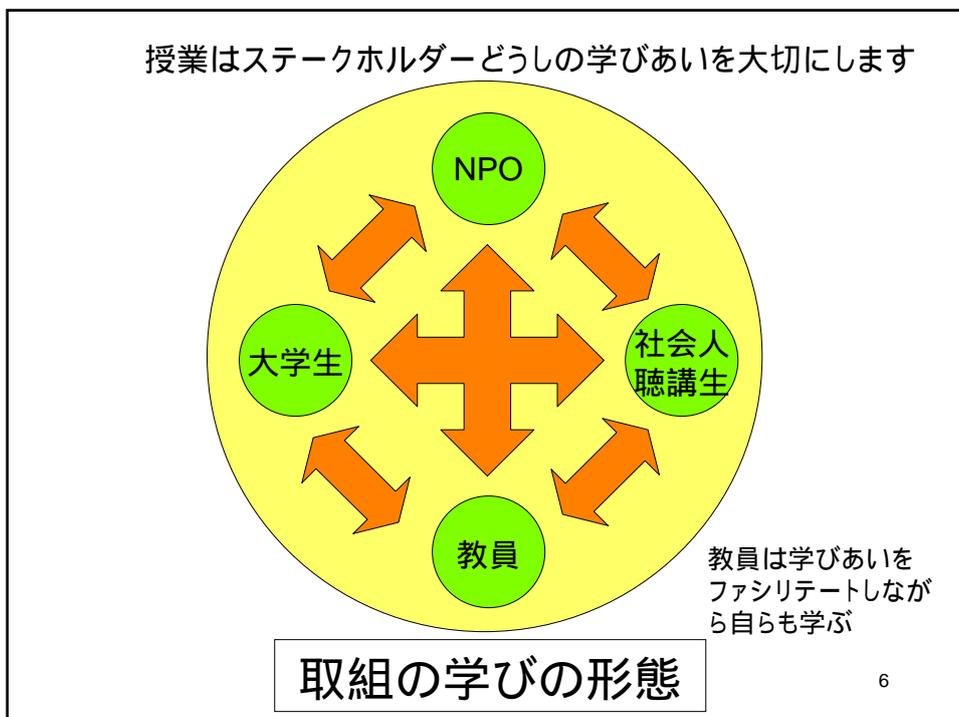
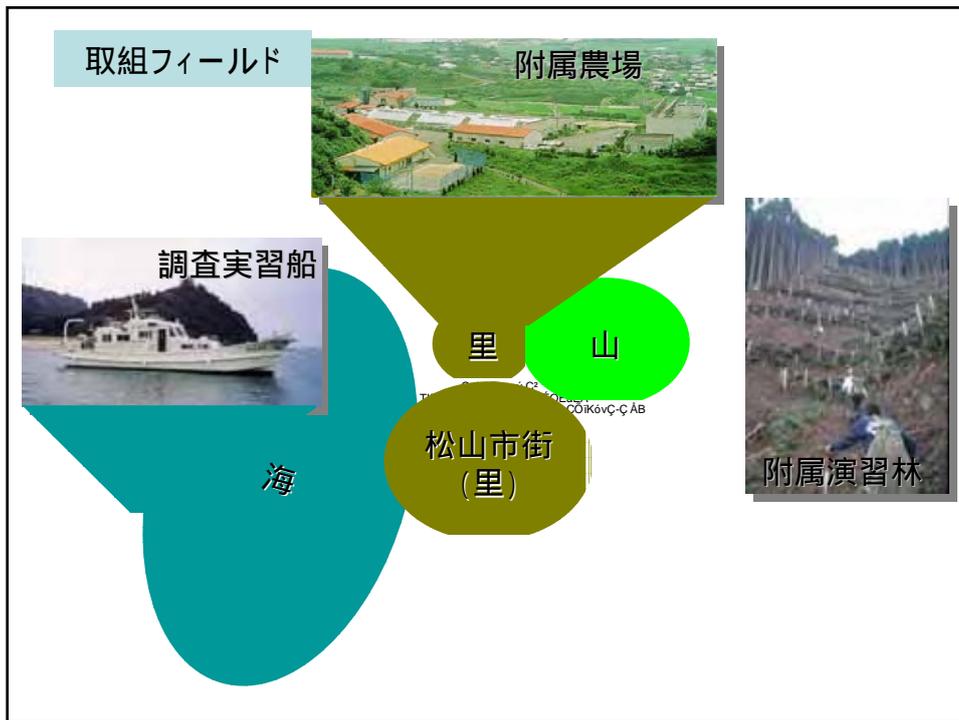


＝ 愛媛大学は、これからの愛媛を支える人材養成を担っています ＝

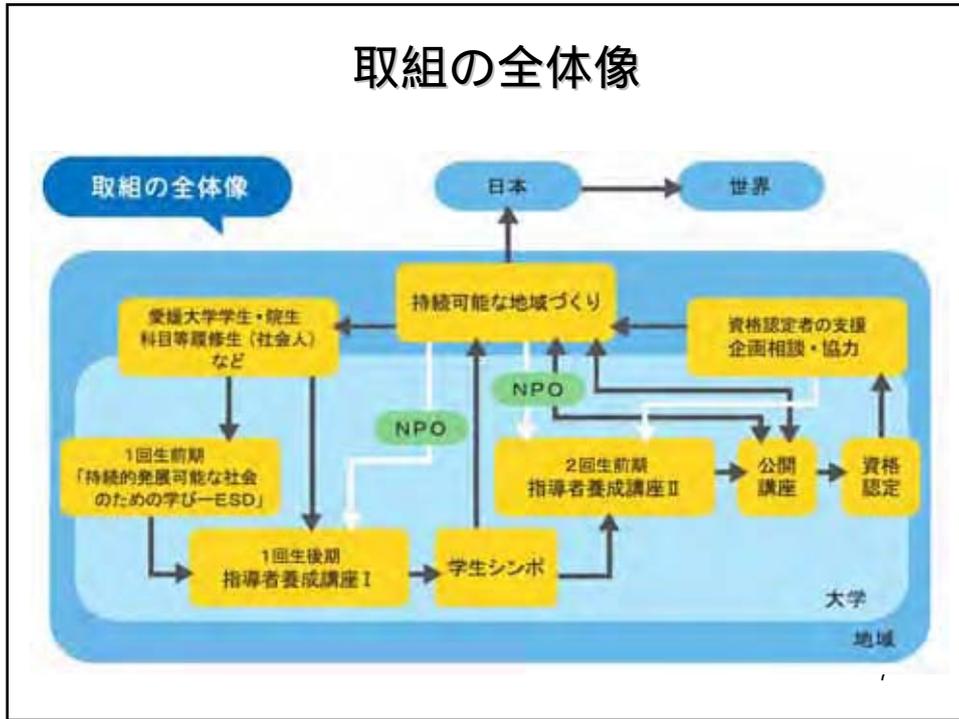


### 取組における学生教育の目標と 養成する人材像について

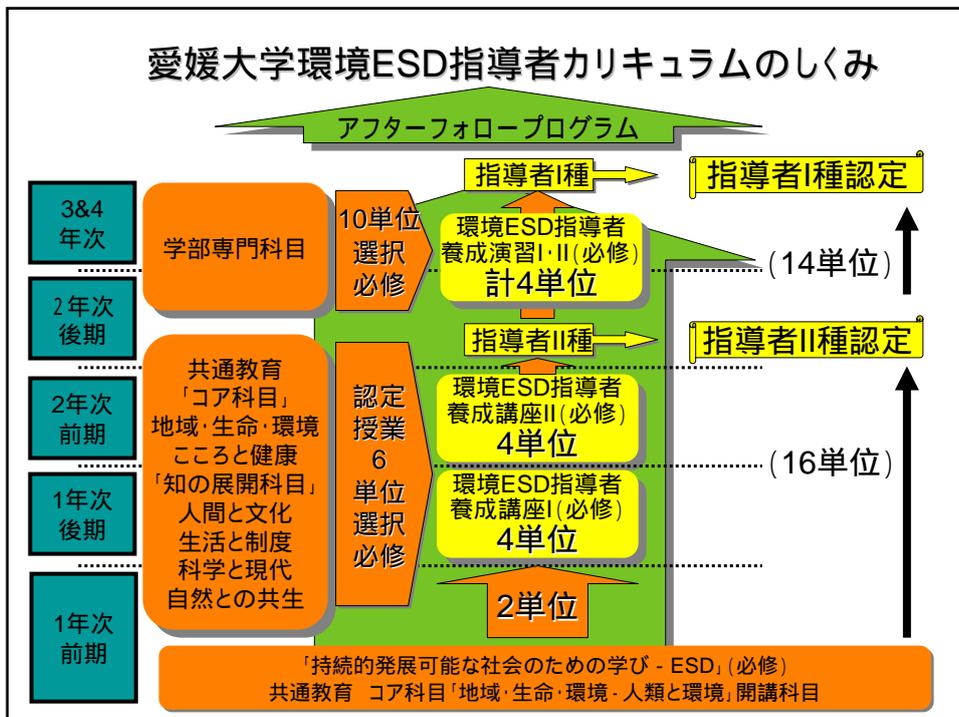
- 自然環境, 地域社会 (文化) と経済の3つの視点に立ち, (ESDの基本的な視点)
- 自ら地域に出向き, 地域から地球規模の環境の諸問題について自ら気づき (課題発見能力の育成)
- グローカル精神に基づき, その問題についてさまざまな方向から考察して問題の解決に取り組むことのできる知識と技能を身につけ (問題解決能力)
- さらには地域のさまざまな意志決定レベルを通して問題の解決に向けて積極的に働きかけることのできる人物 (社会参画意識の育成)



# 取組の全体像



## 愛媛大学環境ESD指導者カリキュラムのしくみ



## 愛媛大学環境ESD指導者資格の種類

- 愛媛大学ESD・環境教育活動インストラクター(初級)
  - 本カリキュラムで習得した知識と体験をコーディネーター・トレーナーが企画した各種ESD・環境教育活動において、指導者として活動参加者に還元することができる。
  - (認定に必要な単位)必修科目10単位および選択(必修)科目6単位、計16単位。
- 愛媛大学ESD・環境教育活動コーディネーター(中級)
  - インストラクターに求められるスキルに加えて、本カリキュラムで習得した知識と体験をもとに、各種ESD・環境教育活動の企画・運営・評価することができる。
- 愛媛大学ESD・環境教育活動トレーナー(上級)
  - インストラクター・コーディネーターに求められるスキルに加えて、養成講座および活動においてインストラクター・コーディネーターの指導を行うことができる。また資格認定者が実施する体験活動の相談窓口となり指導・助言を行うことができる。

9

## 環境ESD資格(初級)認定要件

認定に必要な総単位数 = 16単位

- (必修)環境ESD指導者養成講座IおよびII
  - 知の展開科目「自然との共生」
  - 1年次後期4単位+2年次前期4単位 = **8単位**
- (必修)持続可能な社会づくりのための教育
  - 知の展開科目「自然との共生」
  - 2年次前期**2単位**
- (選択必修)知の展開科目の中から指定する認定授業を(2年生前期終了時まで) 6単位
  - 別紙に指定する、認定授業の中から、「自然」、「社会文化」、「経済」それぞれから2単位、合計**6単位**を選択

10

## コア科目：環境ESD指導者養成講座I

(1回生後期・4単位・必修)

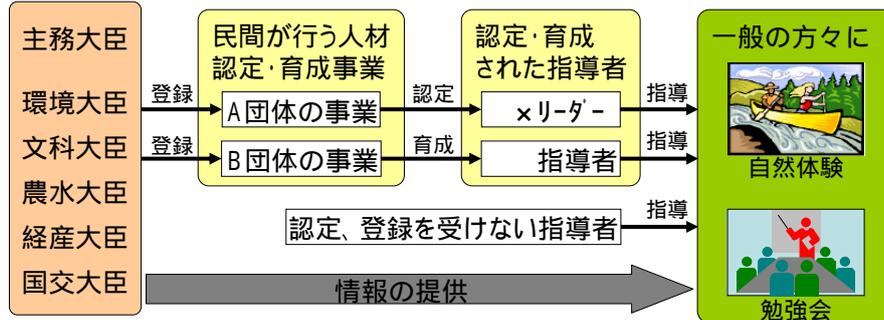
日付	目的	I (8:30-9:30)	II (9:40-10:40)	III (11:00-12:00)	IV (12:50-13:50)	V (14:00-15:00)	VI (15:10-16:10)
2006年12月25日	ガイダンス アイスブレイキング	アイスブレイキング ガイダンスI	ガイダンスII 環境ESDの理念・ 現状・課題	グループのアイスブレイキングと グループワーク技法	グループのアイスブレイキングと グループワーク技法	フィールドワーク 調査手法 (安全教育)	フィールドワーク 調査手法 (調査の実際)
2006年12月26日	【野外フィールドオムニバス講義】 フィールドワークを にらみ、く地域の 様々な環境問題につ いて、フィールドご とに分類してブリー フィング的授業を展開する。 ただし、具体的な課題 は学生自らフィールド から発見すること を促す内容とする。	里と人 「里と社会シ ステム」	里と人 「里と食料・農 業」	里と人 「里と生態系・ 景観」	NPO課題提示 えひめグローバル ネットワーク	グループディス カッション	グループディス カッション 小テスト
2006年12月27日	山と人 「森の文化の起 源」	山と人 「現代へ続く森 の文化」	山と人 「山の暮らし 食べ物論」	13:00-14:30 山と人 「国際経済と持続可能な森 林管理」	14:40-15:30 NPO課題提示 自然環境教育えこ とのほ	15:30-16:10 グループディス カッション 小テスト	
2006年12月28日	海と人 「流れと生物」	海と人 「海と地域社 会」	海と人 「環境教育の現 状」	行政課題提示 松山市・NPOサ ポートセンター	グループディス カッション	グループディス カッション 小テスト フィールド調査ガ イダンス	
2007年1月-2月	フィールドワーク	提示された課題フィールドに出向き、課題発見と問題の解決につながる環境教育の企画を立案する。 公開シンポジウムで発表 グループごとに調査日程を組む。					
2007年3月5日	フィールドワーク中 間発表	フィールドワーク 中間発表			企画立案の方法	プレゼンテーショ ン技法	グループディス カッション
2007年3月6日	【ESDの視点別オム ニバス講義】 ESDの3つの視点である 自然、社会文 化、経済に視点を置 きながら、物質循環 という観点から 人、物、金のつなが りについて学習する。	環境における物質の循環I 「水の循環」	グループディス カッション	環境/自然から 切り離されるヒ ト	環境における物質 の循環II 「分子の循環」	環境における物質 の循環I 「紙の循環」	グループディス カッション 小テスト
2007年3月7日		環境/自然から 切り離されるヒ ト	グループディス カッション	環境/自然から 切り離されるヒ ト	生産-消費- 廃棄: 分断さ れた社会	社会の絆を取り 戻す	グループディス カッション 小テスト
2007年3月8日	公開シンポジウム発 表準備	事前発表			グループディスカッション		
2007年3月11日	公開シンポジウム	外部講演者からの評価、一般参加者からの評価、教員からの評価、受講生同士の評価					

## 環境ESD指導者養成講座I 履修登録の方法

- 認定単位授業の履修登録 12月5日午後5時まで  
に
- 「環境ESD指導者養成講座I」の「志望動機」に関する  
レポートを提出
  - 所定用紙に記述
  - 提出先: 共通教育チーム
  - **切 12月5日(火)17:00**
- 【12月11日に受講者の決定・通知】
- 受講決定後「環境ESD指導者養成講座I」について  
履修登録ないし、科目等履修生申込
- 12月下旬から集中講義を実施

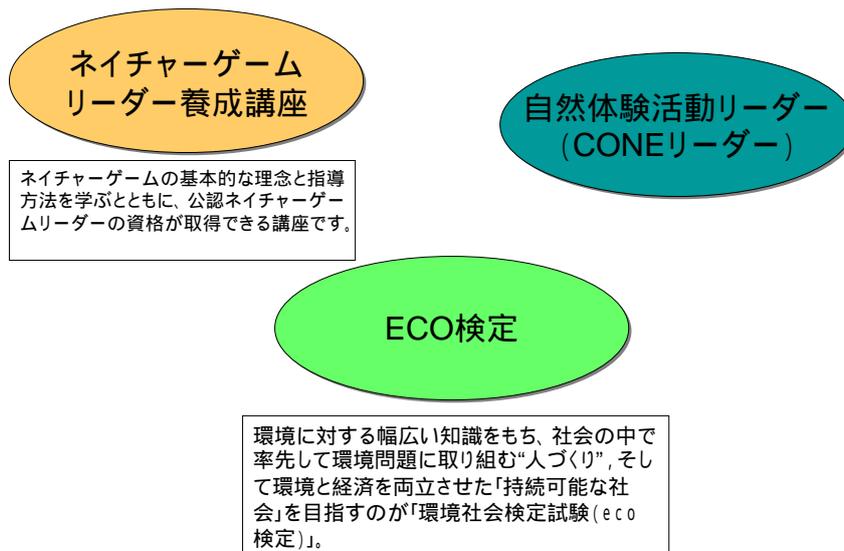
## 人材認定等事業の登録等(第11条～第18条)

- ・国は、民間団体、事業者などが行う環境保全に関する指導者を育成・認定する事業の登録制度を創設します。
- ・人材育成・認定に関する取組事例、人材育成のマニュアルについての情報の収集、整理、分析、その結果の提供を行います。



・登録制度によって、民間が行う人材認定・育成事業の社会的信頼性が高まります。  
 ・環境保全について学んだり、活動したりしようとする人が指導者を探し易くなります。

## 外部資格・指導者養成講座への接続



## Eco検定(環境社会検定試験) を取得する意義

- 学生
  - 環境保全に取り組んでいる企業・団体などへの就職活動や進学時のアピール材料になります。知識の幅を拡げ、国際的な視野でこれからの社会の姿を考えられるようになります。
- 一般
  - 日常生活の中で、環境に配慮した生活知識を身につけることができます。また、環境への知識をもとに、地域再生や地域振興のために活動していただくことも期待しています。
- 企業
  - 企業の社会的責任(CSR)対応や今後の環境ビジネスの展開に向けて、知識を活用できるようになります。また、取得する社員が増えることで、企業のイメージアップにもつながります。ISO取得後の継続学習の一環として、社員の意識改革や自己啓発にも役立てられます。

15

**環境ESD指導者養成資格は  
自分の進路に生かせるのか？**

16

# 環境ESDは仕事につながるのか？

出展：環境を守る仕事なり方完全ガイド，学研（2006；第2刷）

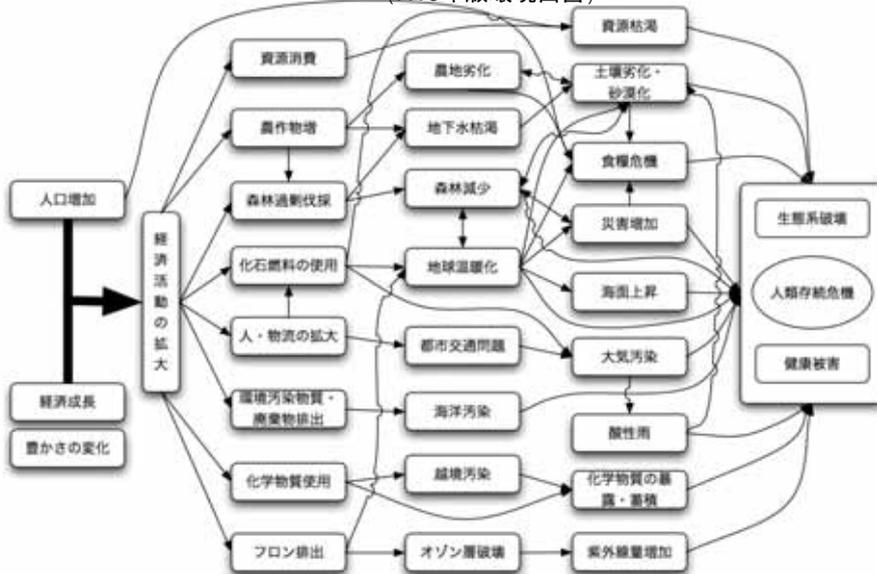


## • 環境を守る仕事とは

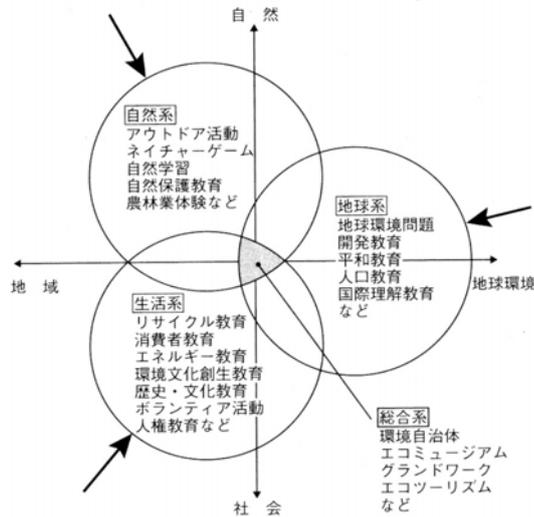
- 「自然の観察・保護」を通じて
- 「教育・伝える」を通じて
- 「社会・企業」を通じて
- 「サービス・モノ」を通じて

# 問題群としての地球環境問題

(H13年版環境白書)



# 環境教育の実践体系



阿部治氏作成 / 『エルコレーダー』 第12号より

19

## 「自然の観察・保護」を通じて環境を守る仕事

野生動物の生態系を  
調べケアする

- ピオトープ管理士
- 樹木医
- 野生動植物調査会社

生態系そのものを  
研究する

- 学芸員
- 大学教授
- 民間・公立研究所

自然・公園の中で  
自然の生態系を守る

- 自然保護官
- 森林インストラクター
- インタープリター

20

## 「教育・伝える」を通じて環境を守る仕事

自然の中で、  
その素晴らしさを  
解説する仕事

- インタープリター
- エコツアーガイド
- グリーンツーリズムインストラクター

教育の現場で、  
自然環境の重要性を  
伝える仕事

- 初等・中等・高等教育教員
- 学芸員
- パーマカルチャー指導員

メディアで  
自然環境保全・改善を  
促す仕事

- 新聞記者、テレビ関係者
- 出版
- インターネット

21

## 「サービス・モノ」を通じて環境を守る仕事

新エネルギーの  
技術開発をする

- 太陽電池の開発
- 風力発電の開発
- 燃料電池の開発

自然にやさしい商品や  
サービスを提供

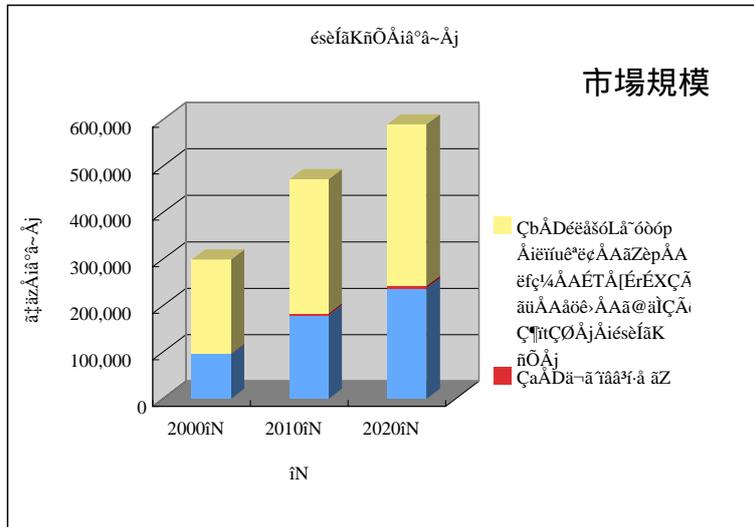
- 建築士
- オーガニックカフェ
- 環境配慮グッズの開発

自然環境保全・改善に  
かかわる装置を開発

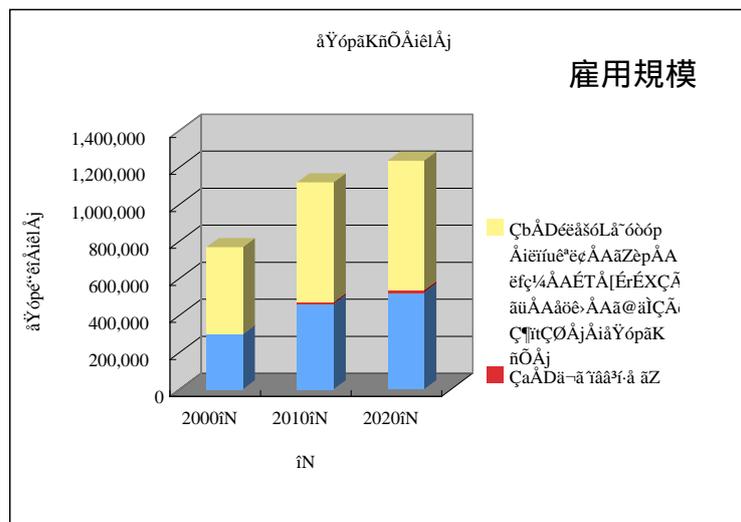
- 水質・大気・土壌汚染防止装置の開発
- 公害計量装置の開発
- 太陽電池、風力発電、新エネルギーに関わる装置の開発

22

日本の環境ビジネスの市場規模及び雇用規模の現状と  
将来予測についての推計 (OECD分類)  
環境省 (2004)

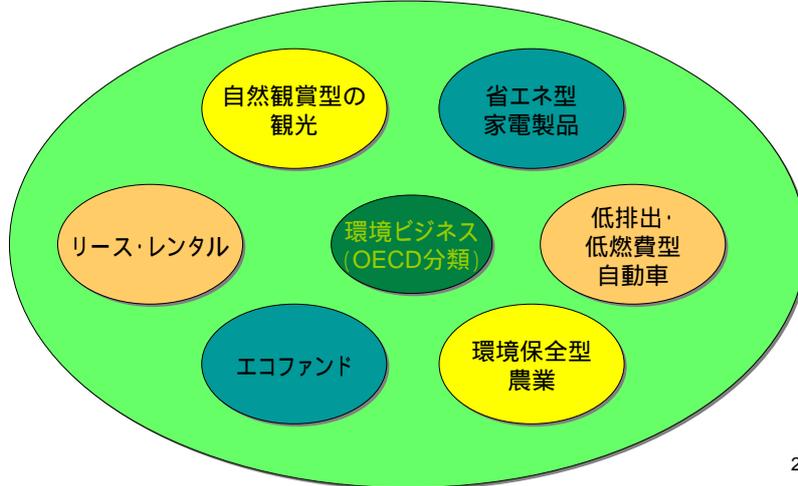


日本の環境ビジネスの市場規模及び雇用規模の現状と  
将来予測についての推計 (OECD分類)  
環境省 (2004)



## 環境誘発型ビジネス 環境省(2004)

「環境誘発型ビジネス」とは、環境保全を考えた消費者の行動が環境に配慮した機器やサービスの需要や市場を誘発する市場。経済協力開発機構(OECD)の分類の「環境ビジネス」を含み、これより広い範囲の事業を指す。



25

## 環境誘発型ビジネスの 現状と将来予測



	2000年	2025年
市場規模(兆円)	41	103
雇用規模(万人)	106	222

26